

自閉症のヴァイオリン・フルート・ピアノデュオ

ノブタク



オーケストラで出会い、休日はミュージシャン、平日は会社員

グループ名の「ノブタク」は名前の頭文字から。2010年、障がい者もメンバーとして演奏に加わったオーケストラ「コバケンとその仲間たちスペシャルオーケストラ」で出会い、そこでの二人の様子がNHKTV「福祉ネットワーク」で全国放映。2015年、2016年 香港自閉症才能コンテストに出場し、各々卓越表現賞・ベストリズム賞 2年連続受賞。



本間 惟彦【ノブ】 ヴァイオリン

1993年生まれ。
東京都杉並区在住。
区立の小学校、中学校の特別支援学級を経て都立中野特別支援学校卒。
幼少から多動、言葉の遅れが目立った中、ヴァイオリンの音色を好んだことから5歳より山口音楽教育センターでヴァイオリン療育を始める。最初はヴァイオリンを支えて立つ事から始まったが、左手の指で弦をおさえ、右手で弓を持って駒と並行に弓を動かすなど、多様な動作が増えてゆくとパニックや混乱もあった。あきらめかけると急にクリアしたり、その繰り返しだった。中学校の頃から少し落ち着き、地元の児童館等で演奏活動を始める。現在はソロの他にアンサンブルでも活躍中。日本郵便（株）勤務。



小柳 拓人【タク】 フルート・ピアノ

1994年生まれ。
東京都世田谷区在住。
都立青鳥特別支援学校卒。幼少時、多動で奇声を発し言葉の遅れがあった中、唯一音楽に興味を示したことから、5歳よりピアノをはじめる。指番号へのこだわりや毎日決まったことを時間通りに行うことで落ち着くといった自閉症の特性がピアノ練習に功を奏する。2009～2012年「国際障害者ピアノフェスティバル」金賞他多数。2013年「ピョンチャンススペシャルミュージックフェスティバル」第1位。吹奏楽部をきっかけに12歳からはじめたフルートでは、オーケストラ参加やダンスとのコラボを展開。カナダ、台湾、韓国、アメリカ、中国でも演奏。HP公開中。大和ライフプラス（株）勤務。

自閉症は脳の認知障害であり、物の認知の仕方、見え方、感じ方に違いがあります。そのことが、対人関係の難しさ、コミュニケーションの難しさ、こだわりや興味の狭さといった特性に現れます。こうした生きづらさを抱える一方で、記憶力など一部の機能が特に優れていたりすることもあり、音楽、絵画、文学、科学の分野で能力を発揮する人もいます。ノブ（本間惟彦）とタク（小柳拓人）は、音楽というツールによって自分の内面を表現したり、二重奏をすることで人と合わせる楽しさを感じ、今では音楽が日々の生活に欠かせないものとなっています。

こんなコンサートやっています！

～自閉症のミュージシャン **ノブタク**による演奏とママたちのお話～

音楽がくれた**希望** コンサート

ヴァイオリン、フルート、ピアノの演奏と共に、二人の歩みを写真や映像を交えてお話しします



♡会場に到着、きょうもがんばるぞ～！



♡まずは、オープニング演奏から。



♪ホール・ニュー・ワールド

♡お話のスタートは【二人の出会い】から。進行役はタクママ。



出会い
そして
ノブタク
デュオへ



♡お話の後はもう一曲。ピアノ伴奏はノブママ。



♪美女と野獣

♡【ノブの歩み】を紹介。5歳から、最初は先生二人についてもらってヴァイオリンを始め、今ではこんな曲も弾けるように。



♪チゴイネルワイゼン

♡【タクの歩み】を紹介。どちらもダメもとではじめた楽器。継続は力なり。海外演奏や受賞も多数。



♪白鳥



♪ラ・カンパネラ



♡ノブとタクからは【会社員としての日常】を紹介。



♡最後は、会場の皆さんも一緒に。

♪上を向いてあるこう



本間桃子【ノブママ】

お話・ピアノ伴奏

大学卒業後は演奏活動と後進の指導にあたっていたが、長男の発達の遅れがわかった事で、子育て中は療育に専念。就学をむかえ、月齢も高くなってきた頃から演奏活動と後進の指導を再開。現在は息子・惟彦の伴奏や「ノブタク」のピアノ伴奏の他、東京都内福祉作業所の音楽活動非常勤講師として勤務。国立音楽大学ピアノ科卒業。オーティズムミュージシャン研究会所属。

小柳真由美【タクママ】

お話・ピアノ伴奏・司会進行

息子の子育ての中で、自閉症ゆえの特異なことに様々な可能性を感じるようになった経験をもとに、親子で『特異を得意にかえて』講演&コンサートを国内外で行う。ピアノ伴奏、コンサート司会、コンサートプランナーとして各種イベントやコンサートのプロデュースも手掛ける。東京学芸大学大学院修了。東京都内小学校、関東学院大学非常勤講師。オーティズムミュージシャン研究会代表。